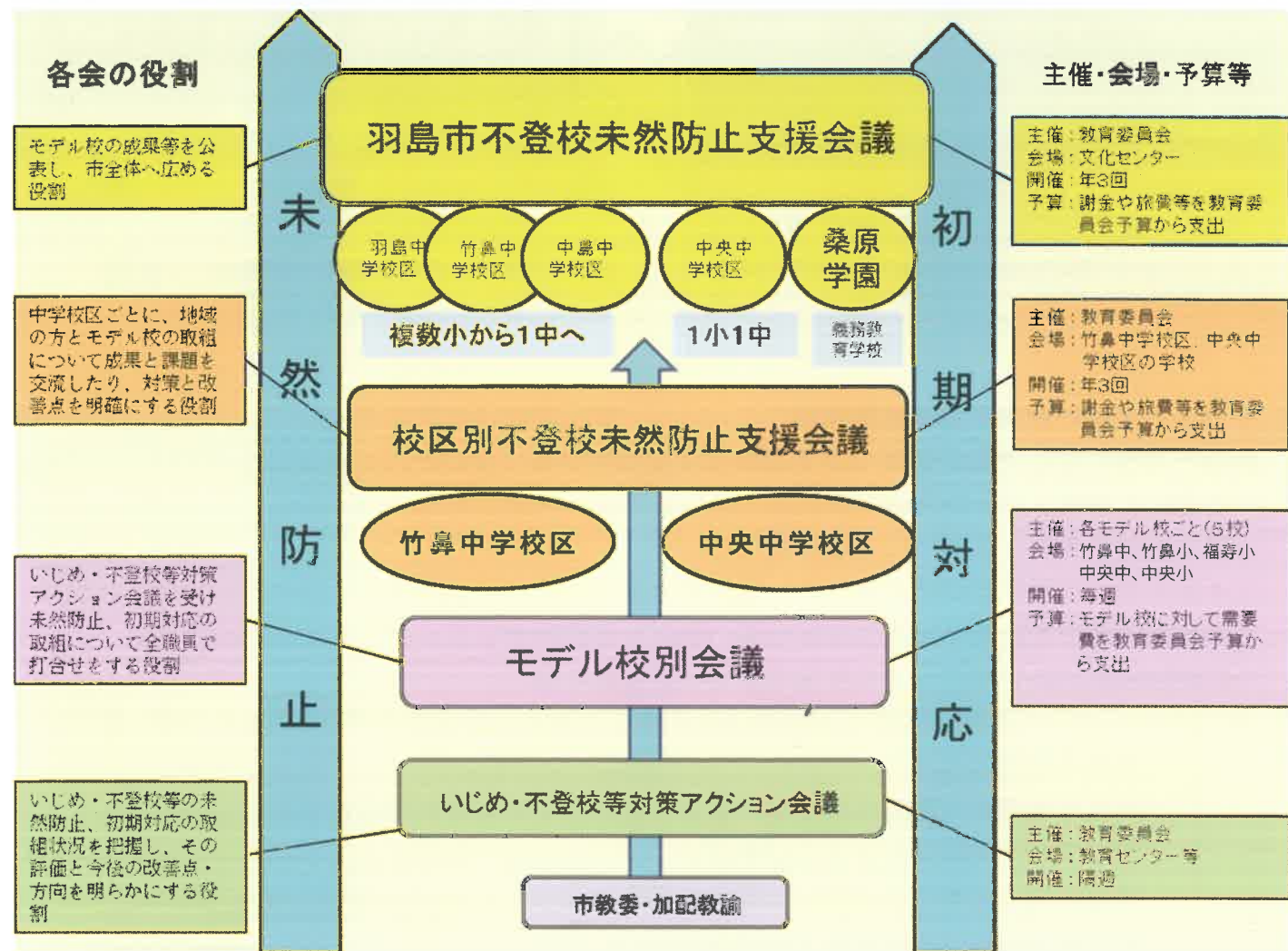


平成 29 年度 チーム羽島 プロジェクト

羽島市全ての学校で魅力ある学校づくりに取り組み、不登校ゼロをめざしましょう。



竹鼻中学校区、中央中学校区を中心としながら、各中学校区で魅力ある学校づくりに取り組み、実践交流をします。

大村はま 「ほめるタネをまく」

子どもはほめることが大切だ、それは常識的なことで、知らない教師というのではないでしょう。それはそうなんです、ただいいことがあったら、いいものが書けたら、ほめようということだけではなくて、いつもほめるタネをまいていかないといけないと思います。

教師としては、**ほめるタネを一生懸命作らなければいけない**。ほめることの大切さを、ほめるタネをまくことの大切さと並べて心に留めておくーいえ、**タネをまくことのほうを重く考えたい**と思います。

第3回羽島市不登校未然防止支援会議にて、中野 澄 総括研究官より大村はま先生の「ほめるタネをまく」を紹介していただきました。

◆発行：羽島市 ◆編集・問い合わせ先：羽島市教育委員会 教育支援センター

〒501-6241 羽島市竹鼻町 226 番地 2 TEL (058) 393-4616 E-mail:kyoikushien@city.hashima.lg.jp

平成28・29年度 国立教育政策研究所指定「魅力ある学校づくり調査研究事業」
岐阜県教育委員会指定「いじめ・不登校未然防止事業～勇気と自信育成プロジェクト～」

○調査研究の目的

児童生徒の豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育成する「魅力ある学校づくり」を進め、いじめ・不登校等の未然防止を推進する

○めざす姿

すべての児童生徒が学力、規律、有用感を身に付け、目標や夢をもち困難に立ち向かう勇気や自信をもつ

○調査研究の重点

本調査研究は、全ての児童生徒を対象とした未然防止、不登校の兆しの見えた児童生徒の個別支援が対象となります。(前年度不登校児童生徒はこれまで通り個別支援をします。)

観点	取組の視点	主たる取組
未然防止	全ての児童生徒	集団指導
初期対応	兆しの見えた児童生徒	個別支援
初期対応	前年度の不登校児童生徒	個別支援
自立支援	不登校を理由に欠席30日以上児童生徒	個別支援

新規数の抑制

継続数の減少